

「京都市体育館」及び「京都市西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンク（京都アクアリーナ）」のネーミングライツ契約事業者の公募に係る審査結果について

令和 7 年 1 1 月 5 日の文教はぐくみ委員会において御報告のうえ公募を実施した、「京都市体育館」及び「京都市西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンク（京都アクアリーナ）」のネーミングライツ契約事業者について、この度、「京都市ネーミングライツ審査委員会」において審査を行い、契約候補事業者を選定しましたので、御報告いたします。

1 京都市体育館の公募に係る審査結果について

(1) 応募者数

1 事業者

(2) 契約候補事業者

日新電機株式会社

設 立	大正 6 年 4 月
所 在 地	京都市右京区梅津高畝町 4 7 番地
資 本 金	1 0 2 億 5, 2 8 4 万円
事業内容	電気機械器具の製造・販売、産業用機械器具並びに装置の製造・販売 等

(3) 応募（提案）内容

ア 命名する通称

「にしんでんきアリーナ京都」

イ 価格

年間 2, 0 0 0 万円（税込）

ウ スポーツ、地域等への貢献

- スポーツへの貢献について、本社敷地内に体育館を整備しており、その体育館を地域住民に無償での開放や剣道部による「ちびっこ剣道教室」を開催されるなど地域社会に開かれた施設運営を実施

また、2 0 0 5 年から京都サンガ F.C.、2 0 2 4 年からは京都ハンナリーズといった、京都に本拠地を置くプロスポーツにスポンサーとして協賛をされている。

- 地域等への貢献について、障がい者雇用の促進、技術系人材の育成、歴史的文化財の保護や地域の環境保全活動への協力、新型コロナウイルス感染症対策としての寄付など多くの社会貢献活動を実施

(4) 京都市ネーミングライツ審査委員会での主な意見

- 「にっしんでんきアリーナ京都」という通称は、分かりやすく親しみやすい通称であると評価できる。
- ネーミングライツを実施するのに十分な経営状況であると評価できる。
- 京都市のスポーツ施策に対する貢献に加えて、その他の京都市の施策に対する社会貢献・地域貢献度も非常に高く、評価できる。これまで以上に地域に貢献されることを期待する。

(参考) 審査の結果

事業者	評価
日新電機株式会社	481点／500点

※ 募集要項において、配点合計（500点）の6割以上の得点となった応募者の中から最も高い得点となった応募者を契約候補事業者として選定することとしている。

2 京都市西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンク（京都アクアリーナ）の公募に係る審査結果について

(1) 応募者数

1 事業者

(2) 契約候補事業者

株式会社大興設備開発

設 立	昭和49年3月
所 在 地	京都市右京区花園扇野町37番地
資 本 金	4,400万円
事業内容	総合建物管理・設備工事業

(3) 応募（提案）内容

ア 命名する通称

「大興設備開発 京都アクアリーナ」

イ 価格

年間550万円（税込）

ウ スポーツ、地域等への貢献

- スポーツへの貢献について、2025年度から京都をホームタウンとする京都サンガ F.C. のプラチナスポンサーをされており、2026年度も協賛を継続される予定
- 地域等への貢献について、2024年3月に京都府内の小学校、支援学校91校に計28,900枚の集金袋を寄贈。また、翌年の2025年3月に京都府内の小学校、支援学校88校に29,549個の消しゴムを寄贈

(4) 京都市ネーミングライツ審査委員会での主な意見

- 「大興設備開発 京都アクアリーナ」という通称は、社名が入っており問題ないが、利用者等にとって少し長く・固い印象を持たれ、通称が浸透しづらくなる可能性もあるため、可能であれば、より親しみやすい名称をご検討いただきたい。
- ネーミングライツを実施出来る安定的な経営状況であると考えられる。
- 京都市の中小企業として、スポーツ施策や地域に対しても貢献されている。今後も、地域に根差した取組を展開いただくことを期待する。

(参考) 審査の結果

事業者	評価
株式会社大興設備開発	369点／500点

- ※ 募集要項において、配点合計（500点）の6割以上の得点となった応募者の中から最も高い得点となった応募者を契約候補事業者として選定することとしている。

3 今後の予定について

今後、契約事業者への特典となる施設通称看板の掲出場所等について、契約候補事業者と協議を行ったうえで契約を締結し、令和8年4月からの通称使用を開始予定

【参考】

1 ネーミングライツ付与必要事項

- (1) 施設概要：別紙1 参照
- (2) 募集方法：公募
- (3) 予定価格：1, 700万円（税込）以上 京都市体育館
（年間） 550万円（税込）以上 京都市西京極総合運動公園プール
兼アイススケートリンク
（京都アクアリーナ）
- (4) 契約期間：3年
- (5) 通称に関する条件：
 - ア スポーツ施設の通称として誰もが理解できるものとする。
 - イ 大会から市民の身近なスポーツの場として、多くの方々に利用されていることを踏まえ、「京都」などの所在地を表す地名を含む通称とする。
 - ウ 募集の趣旨に照らし、通称変更を求める場合があること。
 - エ 和文以外の表記、ロゴについては別途協議とすること。
 - オ 原則として、契約期間内の通称変更はできないこと。
 - カ 公序良俗に反する等、社会的に批判を受ける恐れのある通称でないこと。
- ※ 京都市西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンクについては、「京都アクアリーナ」の愛称を含む通称とすること。

2 京都市ネーミングライツ審査委員会委員

（敬称略）

氏名	区分	職名等
佐藤 陽子	委員長	公認会計士
舟越 一郎	委員	京都市立芸術大学美術学部教授
藤野 正弘	委員	市民公募委員
武田 淳	特別委員	公益財団法人京都市スポーツ協会専務理事
長積 仁	特別委員	立命館大学スポーツ健康科学部教授
廣田 敬二	特別委員	西京極総合運動公園連絡協議会会長

※特別委員は、対象案件ごとに委嘱

※審査委員会には委員6名中5名が出席（「京都市ネーミングライツ審査委員会規則」第3条第3項により、委員及び特別委員の過半数の出席が開催条件となっている。）

施設概要

1 京都市体育館

- (1) 所在地 京都市右京区西京極新明町1番地（別紙2参照）
- (2) 構造及び面積 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建て 1棟
 建築面積 5,416㎡
 延べ面積 8,112㎡
- (3) 設備 体育室 2,400㎡（60m×40m）
 付属設備（放送室、医務室、役員室、会議室、更衣室、温水シャワー室等）
- (4) 設置目的 スポーツのための施設の提供
 スポーツの競技会、講習会等のための施設の提供
- (5) 開設年月 昭和38年5月
 （昭和62年度、平成25年度大規模改修実施）
- (6) 利用状況 令和6年度 利用率72.6% 利用件数 1,252件
- (7) 供用時間 午前8時から午後10時まで
- (8) 観客席 2,500席

2 京都市西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンク（京都アクアリーナ）

- (1) 所在地 京都市右京区西京極新明町29番地（別紙2参照）
- (2) 構造及び面積 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
 地下1階地上3階建て 1棟
 建築面積 7,917㎡
 延べ面積 30,586㎡
- (3) 設備 メインプール（公認50m。冬季はアイススケートメインリンク）、飛込みプール（25m×22m。冬季はアイススケートサブリンク）、サブプール（公認25m）、アーチェリー場等
 付属設備（応接室、関係者控室、大会本部室、記録室、審判控室等）
- (4) 設置目的 スポーツのための施設の提供
 スポーツの競技会、講習会等のための施設の提供
- (5) 開設年月 平成14年7月
- (6) 利用状況 令和6年度 160,430件
- (7) 供用時間 午前9時から午後9時まで
- (8) 観客席 メインプール 2,200席、サブプール90席

